

ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁

な き じ ん そ ん

今帰仁村



市町村コード	473065	類型	II-0
所在地	〒905-0492 今帰仁村字仲原根219番地		
T E L	(0980)56-2101	F A X	(0980)56-4270
ホームページ	http://www.nakijin.jp		
指定地域	辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

(組織)

(平成29年3月31日現在)

村長	きやんはるき 喜屋武 治樹 任期 H32.8.22 (1期)	副村長	おおしろきよのり 大城 清紀 任期 H29.3.31 (1期)
副村長	-	教育長	しんじょうあつし 新城 敦 任期 H29.6.30 (1期)

(概要)

県下	15 位
総面積	H28.10.1 耕地 H28.7.15 宅地 H28.1.1
39.93 km ²	854 ha 2,554,424 m ²

県下	24 位
住基人口	H28.1.1 H27国調人口 H22国調人口
9,611 人	9,531 人 9,257 人
年少人口割合	15.1% (県全体 17.4%) 高齢化率 28.1% (県全体 19.6%)

住基世帯数	H28.1.1 H27国調世帯数 H22国調世帯数
4,246 世帯	3,490 世帯 3,368 世帯

有権者数	H29.3.2 男 女
7,838 人	3,999 人 3,839 人

議長	ひがしおんなかんせい 東恩納 寛政	副議長	よなみねよしかず 與那嶺 好和
議員	条例定数 11 現議員数 11 任期満了日 H30.9.27	党派構成	無所属 11
常任委員会	総務文教、経済建設		

沿革	明治41年4月1日 村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

H28.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	124 人	115 人	9 人
人口千人当たり職員数	12.91 人	11.97 人	0.94 人
各4.1現在	平成28年度	平成27年度	平成26年度
職員数(普通会計)	115 人	113 人	111 人
類似団体	-	145 (160)	145 (158)
ラス指数	90.6	90.5	90.5

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

(村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等)

村花	ハイビスカス	村木	リュウキュウマツ
村鳥	サンコウチョウ	村魚	ソノダシ
名所・旧跡	今帰仁城跡・諸志御嶽の植物群落・乙羽岳・仲原馬場・運天港・古宇利大橋・古宇利オーシャンタワー・ワルミ大橋		
祭り・行事	今帰仁まつり・ウンジャミ(古宇利)・今帰仁グスク桜まつり・いな運天港いちやり場まつり・古宇利島マジックアワーRUN		
名産・特産	スイカ・ゴーヤー・キャベツ・紅イモ・花弁・マンゴー・ぶどう・えのき茸・ドラゴンフルーツ・モズク・泡盛(古里)・もろみ酢・アグー		
姉妹都市	-		
その他	-		

(基本構想)

基本構想	H24~H33 中長期財政計画	無
基本計画	H24~H28	(- -)
実施計画	-	(- -)

(平成29年度主要事業)

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	漁村再生交付金事業	継続	100
補助	今帰仁冷凍冷蔵施設整備	継続	192
補助	村道古宇利一周線道路改築事業	新規	48
補助	地域活動拠点活性化事業	新規	82

(今後の主要プロジェクト)

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	集落基盤整備事業(今帰仁西地区)	H28~H31	256
補助	漁村再生交付金事業	H27~H31	509
補助	村道古宇利一周線道路改築事業	H29~H33	612
-	-	-	-

(広域市町村圏・広域計画)

北部広域市町村圏	
地域整備活性化計画	
-	
-	

(基地面積) (H28.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	- ha
県面積に占める割合	-

〔教育〕

(平成28年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	3園	90人
村立小学校	3校	595人
中学校	1校	306人
村立	1校	306人
村立以外	0校	0人

〔医療〕

(平成27年度)

区分	施設数	病床数
病院	1箇所	120床
村立	0箇所	0床
村立以外	1箇所	120床
診療所	3箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	3箇所	0床
住民千人当たり病床数		12.5床

〔財政〕

① 決算収支

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度
歳入総額	6,349	6,166	6,196
歳出総額	6,159	5,901	5,907
形式収支	190	264	290
実質収支	181	255	271
比率	6.0%	8.5%	8.8%
積立金	129	136	214
積立金取崩額	111	103	99
実質単年度収支	38	108	131

③ 公営事業会計等における繰入金の状況

(H27年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入
国民健康保険事業	△ 279	313	23
老人保健医療事業	0	0	
介護保険事業(保険)	0	0	
後期高齢医療事業	0	44	
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
法非適	-	0	0
	-	0	0
	-	0	0
	-	0	0
	-	0	0
法適	簡易水道事業 △ 80	40	0
	-	0	0
	-	0	0

④ 歳入の状況

(H27年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	598	9.7%
地方譲与税	47	0.8%
地方交付税	2,369	38.2%
普通交付税	2,169	35.0%
特別交付税	200	3.2%
国庫支出金	648	10.5%
県支出金	1,043	16.8%
地方債	274	4.4%
その他	1,217	19.6%
歳入総額	6,196	100.0%

〔産業〕

① 産業別就業者数 (H22四半期)

区分	就業者数	構成比
第1次	1,049人	25.8%
第2次	573人	14.1%
第3次	2,403人	59.2%
合計	4,060人	100.0%

〔福祉〕

区分	施設数	収容定数
保育所(H28.4.1)	4箇所	280人
村立	4箇所	280人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H27年度平均)		18.17人
人口千人当たり		

② 村内純生産

(H25年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	1,306	10.9%
水産	51	0.4%
鉱・製造	298	2.5%
建設	2,095	17.5%
電気ガス水道	48	0.4%
運輸・通信	521	4.4%
卸売・小売	1,123	9.4%
金融保険不動産	499	4.2%
サービス	3,044	25.5%
政府サービス生産者	2,174	18.2%
民間非営利団体	792	6.6%
合計	11,951	100.0%

② 主要指標

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.20	0.20	0.21	26	0.35	0.51	0.29
標準財政規模 a	3,029	3,020	3,092	26	333,767	242,473	91,294
経常収支比率	82.7	78.7	72.4	3	85.3	86.4	82.6
人件費	26.8	26.3	24.6	21	23.4	22.6	25.4
扶助費	2.9	3.0	3.2	14	14.2	17.1	6.8
公債費	18.1	16.9	14.5	18	14.4	14.9	13.3
物件費	8.3	8.1	6.6	1	14.0	13.6	15.2
その他	26.6	24.5	23.5	30	19.3	18.2	21.9
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	4.5	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	12.1	11.5	10.8	36	8.7	9.3	6.9
将来負担比率	48.6	42.3	24.7		31.9	45.5	-
税徴収率	91.7	93.6	94.4	21	95.5	95.7	94.7
現年課税分	97.1	97.7	97.7	31	98.5	98.6	98.3
滞納繰越分	34.9	39.7	43.3	5	36.2	37.6	31.7
債務負担行為額 b	119	119	106				
b/a %	3.9	3.9	3.4				
地方債現在高 c	3,407	3,296	3,154				
c/a %	112.5	109.1	102.0	3			
積立金現在高	818	819	1,134				
財政調整基金	353	386	501				
減債基金	28	28	38				
その他特目基金	437	405	594				
住民1人当たり税負担(円)	57,775	62,036	62,189	2			
自主財源比率	21.5	22.7	26.6	22			

④ 歳出の状況

(H27年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	921	15.6%
物件費	1,141	19.3%
扶助費	607	10.3%
補助費等	663	11.2%
公債費	456	7.7%
普通建設事業費	931	15.8%
補助事業費	893	15.1%
単独事業費	38	0.6%
その他	1,188	20.1%
歳出総額	5,907	100.0%

〔行政の特色〕

農業を基軸として、安全で持続可能な土地利用のあり方と環境共生型のうるおいのある生活環境を構築していく。また農業と、商工観光など関連産業の体系化、複合化の推進と「元氣な今帰仁村・健康むらづくり」を推進していくことを村の将来像としている。